

安佐医師会サーベイランス週報 第25週 平成30年6月18日(月)～平成30年6月24日(日)

地区	地 区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾 向	コ メ ン ト
	定点医療機関数	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点	26定点		
	対象人口	75,115名	83,974名	38,432名	43,294名	57,093名	63,914名	19,542名	8,518名	1定点	389,882名		
	定点数当り人口	18,779名	16,795名	19,216名	21,647名	14,273名	12,783名	9,771名	8,518名	1定点	389,882名		
1	RSウイルス感染症	2					1				3	↑	<p>【第25週安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <p>★ほとんどの感染症が報告減少 報告総数も今年最も少ない</p> <p>1. RSウイルス感染症:1→3件 2. 咽頭結膜熱:12→8件 3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:45→43件 多い 4. 感染性胃腸炎:58→74件 少ない 8. 手足口病:10→3件 多い 10. ヘルパンギーナ:8→6件 11. 流行性耳下腺炎:1→1件 12. インフルエンザ:2週連続 報告なし 14. 流行性角結膜炎:7→3件</p> <p><安佐地区 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の推移></p> <p>・徐々に増加中</p> <p><3大夏風邪の推移></p> <p>・3感染症とも何故か減少・・・</p> <p>【百日咳:今年より診断した全医師に報告義務】 LAMP法や抗PTIgG抗体などで診断。 慢性の咳の患者を調べてみる必要があります。 全数把握になり、成人が割合が多い(40%)ことが分かってきました・・・</p>
2	咽頭結膜熱	2					6				8	↓	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	8	2	2	3	8				43	↓	
4	感染性胃腸炎	16	12	8	1	8	27		2		74	↑	
5	水痘												
6	手足口病	1		2							3	↓	
7	伝染性紅斑												
8	突発性発しん	1	2				1				4	↓	
9	百日せき							1			1	↑	
10	ヘルパンギーナ	2				1	3				6	↓	
11	流行性耳下腺炎		1								1	→	
12-A	インフルエンザ(A型)												
12-B	インフルエンザ(B型)												
13	急性出血性結膜炎												
14	流行性角結膜炎		2			1					3	↓	
15	麻疹												
16	風しん												
17	MCLS(川崎病)												
18	髄膜炎(細菌性)												
19	髄膜炎(無菌性)												
20	マイコプラズマ肺炎												
21	クラミジア肺炎												
22	その他												
合計		44	25	12	3	13	46	1	2		146		

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言“**イトコール**” 安佐医師会 **873-1840**にも連絡を頂けると助かります!

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻疹、風しん、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報
保健センターへの届出用紙有り

・3感染症とも何故か減少・・・

【百日咳:今年より診断した全医師に報告義務】
LAMP法や抗PTIgG抗体などで診断。
慢性の咳の患者を調べてみる必要があります。
全数把握になり、成人が割合が多い(40%)ことが分かってきました・・・